

政務活動費活動報告（視察）

(1) 出席者（会派名・個人名）

公明党 中野 正剛

(2) 実施日：平成 27 年 8 月 11 日（火）～8 月 13 日（木）

【 1. 調査の目的】

(1) 本市における現状

レセプト情報の活用による医療費等の分析がまだなされていない。

子育て支援、定住促進に向けた取り組みが適正なのか不明。

高齢化に伴い、デマンドタクシーなどドアツードアの取り組みが必要。

(2) 本市における課題

レセプト情報の活用による国民健康保険の健全運営への取り組みが必要。

今後の少子化に向けての対策を明確にして取り組む必要がある。

高齢化に向けた地域公共交通と福祉移送サービスを再考する必要がある。

【 2. 調査地選定理由】

(1) 調査項目

国民健康保険事業への取り組み、子育て支援、定住促進、地域公共サービスの調査

(2) 選定地 1：呉市（広島県）

国民健康保険事業への取り組み。

選定地 2：邑南町（島根県）

定住対策・日本一の子育て村の取り組みについて、A級グルメの取り組みについて。

選定地 3：高梁市（岡山県）

公共交通と乗合タクシーについて、福祉移送サービスについて。

【 3. 調査結果】

(1) 内容

国民健康保険事業への取り組み。

定住対策・日本一の子育て村の取り組みについて。

A級グルメの取り組みについて。

公共交通と乗合タクシーについて。

福祉移送サービスについて。

(2) 考察

・レセプト情報を活用してのジェネリック使用促進や重複診療による医療費の節減・健康寿命延伸への取り組みは高齢化社会を迎えて是非とも必要だと思う。

・子育て支援については邑南町の各課が自分の課も取り組めることがあるのではと前向きに全体で取り組んでいた事が印象的だった。

・今後は彦根市でもドアツードアの公共交通サービスが必要となると思った。